

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2、3	今年度の目標。取り組み中。 少しずつ、地域・家族からのいい反応が感じられるようになってきたが、もっと地域の方との交流の機会を持ちたい。	地域・家族の交流を充実させよう。 ～地域・家族の方が来やすい雰囲気を作りましょう～	・定期的に行事、イベントを企画し、地域・家族の方に参加を呼び掛ける。地域へは、掲示版、チラシ。家族には、お知らせを送る。 ・人がつい集まりたくなるような庭を作る。畑作り、花壇、ベンチ設置等。	6ヶ月
2	13、36	今年度の目標。取り組み中。 目標にあげたことで、各スタッフの意識は強くなり、それぞれ気をつけた対応をすることができてきたが、客観的に見た時にもきちんとした対応ができていないか自信が持てていない。	ゆとりを持ってケアをしよう ～話し方、聴き方、態度を見直しましょう～	・スタッフ自身がゆとりを持つ為に、スタッフ間の連携を深める。その為に、報告、連絡、相談、注意がしやすい雰囲気作りをする。 ・客観的に見た対応についてスタッフ間で話をすつことで、自信を持って利用者様に関わっていくことを目指す。	6ヶ月
3	18、21、38、48	今年度の目標。取り組み中。 ADLの低下や視力等の低下により、趣味の継続が難しくなっている方や「自分ではできない」と思っている利用者様にも、いろいろなことに取り組んでもらって、イキイキとした生活を送ってもらいたい。	その人らしい生活を支援しよう ～それぞれができること、やってみたいと思うことを見つけよう～	・利用者様一人一人のできることや意思に合わせて、それぞれに役割を持ってもらう。 ・「できること」だけでなく、「頑張ればできること」にも挑戦して頂けるように声をかけ、利用者様のやる気や達成感等を引き出す。	6ヶ月
4	10	毎月、ホームの通信にて、1ヵ月の様子等を報告しているが、利用者様の様子に重点を置いていて、ホームが取り組んでいることやどういう意図があるのかまでは報告していなかった。もっとホームを知ってもらうために、そういった点についても報告していきたい。	メイプルでの取り組み内容をもっと地域・家族の方に伝えよう、知ってもらおう。	・通信にて、利用者様の様子だけでなく、ホームの取り組んでいること、やろうとしていること等を報告する。 ・全体に関する利用者・家族等から頂いた意見や要望について、対応した内容も一緒に通信等にて報告するようにする。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。